

拒絶理由通知書  
(Notice of the Rejection)

(Japanese Patent Application No. 2003-115871)

特許出願の番号	特願 2 0 0 3 - 1 1 5 8 7 1	
起案日	平成 1 9 年 1 0 月 1 7 日	
特許庁審査官	小林 大介	9 8 4 8 5 Q 0 0
特許出願人代理人	平木 祐輔 様	
適用条文	第 2 9 条第 2 項、第 3 6 条	

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から 6 0 日以内に意見書を提出してください。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

2. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第 3 6 条第 6 項第 2 号に規定する要件を満たしていない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

理由 1. について

- ・請求項 1, 3 - 5, 7 - 1 0
- ・引用文献 1 - 5
- ・備考

引用文献 1 には、P R の拘束長の両側に残る符号間干渉を補償する 6 状態ビタビ復号 P R ( 0, 1, 1, 0 ) 方式が記載されている (引用文献 1 段落 [ 0 0 2 4 ] 参照)。

ビタビ復号の期待値を補正する構成は、引用文献 2 及び 3 にもみられるように周知技術であるので (特に、引用文献 2 段落 [ 0 0 1 4 ] - [ 0 0 1 6 ]、引用文献 3 [ 図 7 ] 参照)、引用文献 1 記載の P R ( 0, 1, 1, 0 ) 方式を該周知の構成に適用することは当業者が適宜なし得ることである。

また、引用文献 4 に記載された、最尤復号の目標値を補正する構成を備え、目

引用文献等一覽 (List of the citations)

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら、

ましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 情報記録(データ記録) 小林 大介

TEL. 03 (3581) 1101 内線3590

FAX. 03 (3580) 6906